

# 受章おめでとうございます



「秋の叙勲」において、市内から小林正二さんが勲四等瑞宝章を受章されました。また「秋の褒章」において、濱千代進さん、鈴木つや子さんが藍綬褒章を受章されるとともに、これ以前には、荻野圓戒さんが「県知事表彰」を受けられました。そこで、皆さんの栄えある受章を心よりお祝いするとともに、これまでのご活躍を紹介いたします。



## 勲四等瑞宝章

小林正二さん (74歳)

<竹谷町>

昭和46年に市議会議員になられ、6期24年の永きにわたり地方自治の進展と住民福祉の向上に貢献されました。

この間、経済・建設常任委員会委員長などの要職を歴任。昭和57年には、市議会副議長に、昭和60年には同議長として、ごみ焼却業務を市として初めての民間委託とするなど、行政改革を推し進められました。

また、東名音羽・蒲郡インターチェンジ、蒲郡調整池、クリーンセンターの建設に熱心に取り組まれるとともに、現在急ピッチで進められている鉄道高架事業においても、市議会鉄道高架対策特別委員会委員長として、国や県、鉄道関係者と交渉。その指導力には、同僚市議会議員からも厚い信望を寄せられていました。



## 藍綬褒章

濱千代 進さん (63歳)

<平田町>

昭和46年に市議会議員になられ、現在まで7期25年余の永きにわたり地方自治の進展と住民福祉の向上に貢献されました。

この間、経済・文教・建設常任委員会委員長等の要職を歴任。愛知技術短期大学の誘致や東名音羽・蒲郡インターチェンジの設置に重要な役割を果たされるとともに、蒲郡駅周辺の再開発、基幹産業である三河織物の振興などにも熱心に取り組まれました。

また、市肢体不自由児父母の会会長を務め、障害者の福祉増進に尽力されるとともに、市交通都市推進協議会常任委員として交通モラルの高揚をアピール。卓抜なる見識・指導力とその温厚な人柄に、広く地域住民の皆さんから信頼を得ています。



## 藍綬褒章

鈴木つや子さん (65歳)

<本町>

昭和43年に民生・児童委員に就任され、以来28年の永きにわたり、住民の良き世話役、良き相談役として地域福祉の向上に尽力されました。

とくに、生活困窮者・生活弱者に対しては、比類なき社会奉仕の精神により、常に温かい支援の手を差し伸べられました。

昭和49年には、その指導力と人柄を評価され、蒲郡地区民生委員協議会副総務に選任。平成4年にも再び要請を受けられ、この職に就かれると、総務とともに福祉水準の高揚、後進の指導に尽力されました。

また、昭和53年から現在まで県国民年金委員も務められ、年金事業の育成と円滑な運営に貢献されました。



## 県知事表彰

荻野圓戒さん (84歳)

<清田町>

昭和44年から社会教育委員として、20年以上にもおよぶ献身的な講演活動を行われ、市の社会教育の向上、生涯学習の推進に尽力されました。

昭和55年からは愛知県社会教育講師に推薦され、市内のみならず、県内外にもおいても活躍。家庭の絆、親のあり方、地域の連帯など、豊富な経験と知識に基づいたその語りは、聞き手に大きな感動を与えました。また、執筆活動も精力的に行われ、その随筆集「人生雑話シリーズ」は今なお多くの読者の支持を得ています。

さらには青少年センター指導員として、子どもたちの健全育成や北部公民館運営審議会委員長として、地域の発展にも多大な貢献をされました。